



MX-3SG 2.4GHz
3チャンネルコンピュータープロポシステム
取扱説明書

警告

- 人ごみや、道路では絶対にRCを走行させないでください。
- 車体（船体）は完全に整備をして安全を確認してください。
- 湿気やほこりの多いところ、直射日光、自動車の車内などに保管しないでください。
- エンジンの排気がかかる場所、燃料缶のそばに置かないで下さい。
- 当製品を分解しないでください。

特徴

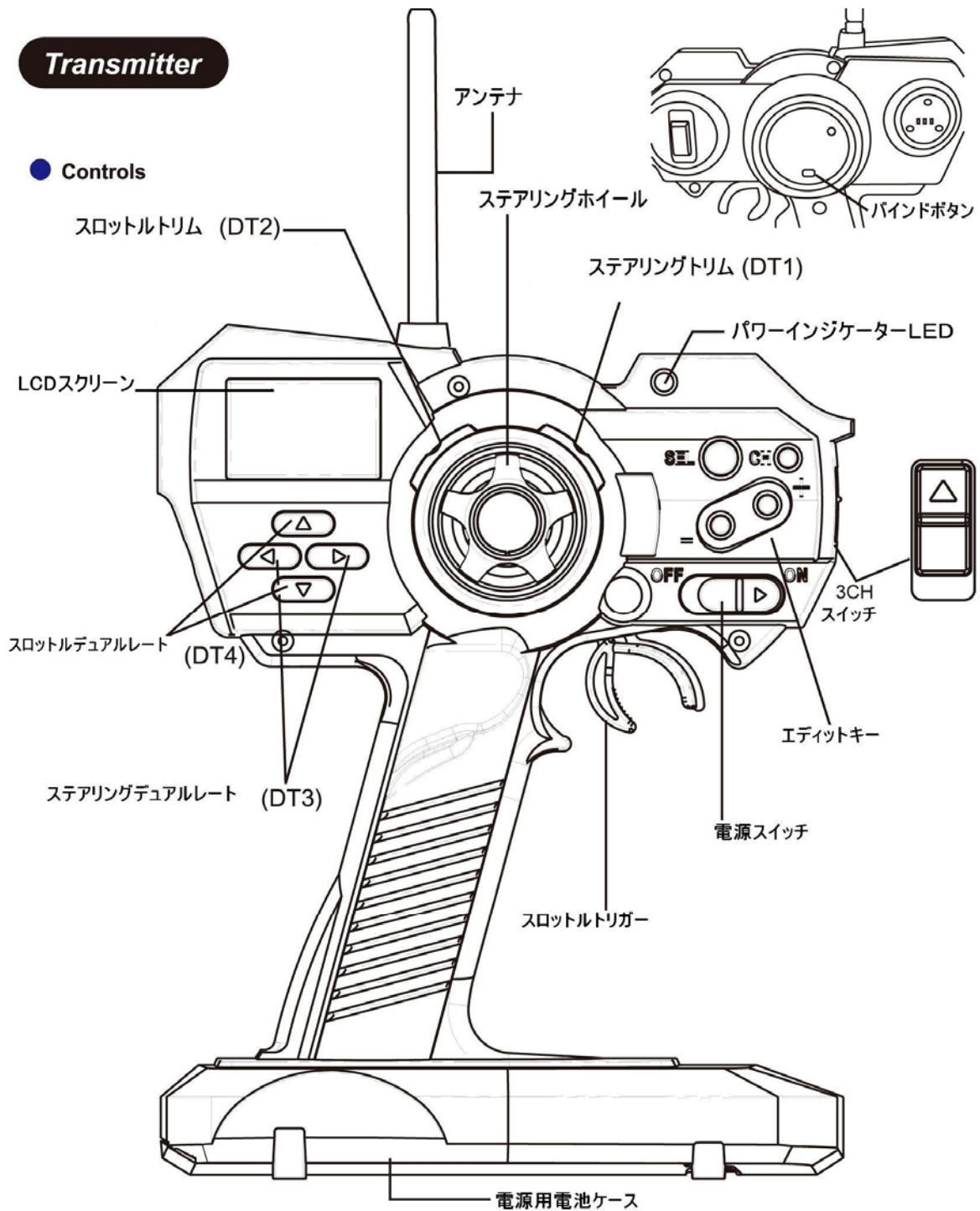
- ・ LCD スクリーンに様々な設定をデジタル表示致します。
- ・ 4 エディットキーによるセットアップ
- ・ 10 モデルメモリー (#0-9) 最大 10 台までのデータを保存できます。
- ・ デュアルレート調整：デジタルトリムを使用して、ステアリングの切れ角を変えることができます。
- ・ デジタルトリム：デジタルトリムを使用してステアリングトリム、スロットルトリム、アジャスタブルスロットルATL、デュアルレートの調整ができます。
- ・ アンチロックブレーキシステム

仕様

送信機
モデル: MX-3SG
電源: 単 3 アルカリ乾電池 × 8 本
重量: 405 g
変調方式: 2.4GHz スペクトラム拡散方式

受信機:
モデル: OPRX-371
変調方式: 2.4GHz スペクトラム拡散方式
電源: DC 4.8~6.0V
重量: 9.5 g
サイズ: 30.0×26.5×14.6mm

送信機の各部名称



受信機の各部名称

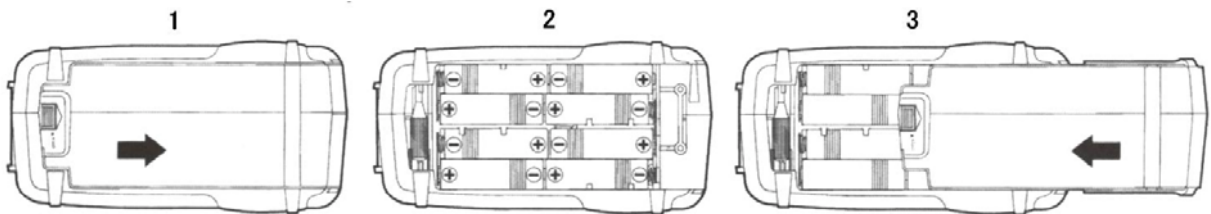
- ST→ステアリング
 - TH→スロットル
(スピードコントローラー)
 - AUX→3チャンネル
 - BAT→受信機バッテリー
(スイッチハーネス)
- * 電動カーでは使いません



電源について

●送信機の電池の入れ方

1. OPEN部を軽く押しながら→の方向へスライドさせると電池カバーが開きます。
2. 極性を間違えないように乾電池を8本入れてください。
3. 電池カバーの凸部分を本体の溝に合わせ←の方向にスライドさせて閉めます。



送信機の電圧が 8.5V に低下すると、アラームが鳴ります。
アラームが鳴ったら、直ちに新しい乾電池と取り替えてください。
安全の為、なるべく 9.0V 以下でのご使用は避けてください。

●電源の入る順番

走行させるときは、送信機（プロポ）→受信機／スピードコントローラーの順に電源を入れてください。

走行後は、受信機／スピードコントローラー→送信機（プロポ）の順に電源を切ってください。

* 順番が逆になると RC カーが暴走する恐れあり、大変危険です。

●送信機の電源をOFFにする際の注意。

エディットキーや他のボタンで調整した場合、送信機の電源は 2 秒以上あとにOFFにしてください。2 秒未満で電源をOFFにするとセッティングデータが上書きできない場合があります。

B I N D (バインド) について

B I N D (バインド) とは、MX-3SG送信機は、それぞれ固有のID番号をもって、そのID番号を受信機に記憶させること (B I N D / バインド) です。B I N D 設定した送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。

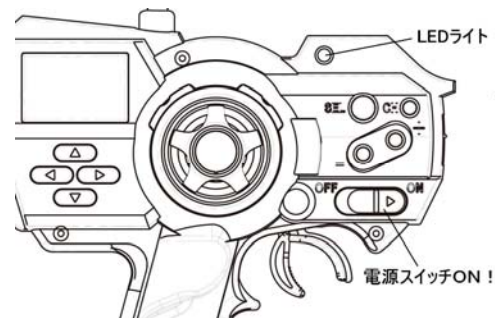
* 出荷時には送信機と受信機のB I N D 設定はされておきませんので、ご使用になる前に必ずB I N D 設定を行ってください。

* 新たに受信機を購入された場合は必ず送信機と新しい受信機でB I N D を行ってください。

* 必ずB I N D した送信機と受信機のセットでお使い下さい。

* B I N D 設定をする際には、サーボやスピードコントローラー (モーターは除く)、バッテリー等を接続した状態で行ってください。

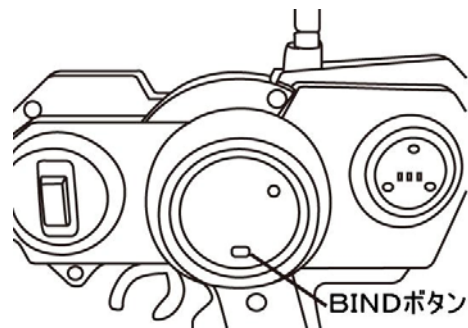
1. 送信機の電源スイッチをONにします。



2. 受信機のB I N D ボタンを押したまま、受信機 / スピードコントローラーの電源スイッチを ON してください、そして、B I N D ボタンを押したまま待ちます。受信機の LED が点滅します。



3. 2秒以上たったら受信機のB I N D ボタンを離します。
4. 受信機の LED が高速に点滅するまで、送信機 (プロポ) のB I N D ボタンを押します。



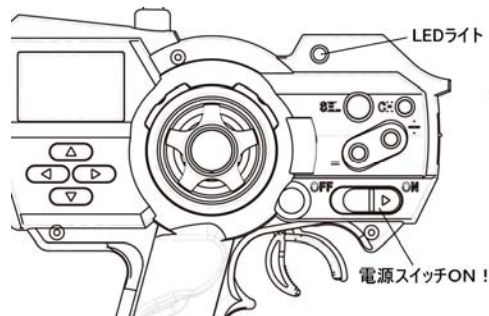
5. 受信機のLEDが高速点滅になったら、送信機のB I N D ボタンを離します。
6. 受信機のLEDが点灯状態になったらB I N D 設定完了です。
7. サーボ等を作動させてB I N D 設定が出来た事を確認してください。

スロットル・フェイルセーフについて

フェイルセーフとは、受信機が送信機の電波を受信できないような状況になった場合にあらかじめスロットルサーボやスピードコントローラーのスロットルポジションを設定しておいてRCモデルの暴走を防ぐ機能です。

送信機と受信機のB I N D設定が完了しないと、フェイルセーフの設定を行うことが出来ません。

1. 送信機の電源スイッチをONにして、送信機のLEDが点灯していることを確認してください。



2. 受信機／スピードコントローラーの電源スイッチをONして、受信機のLEDが点灯していることを確認してください。設定をする際には、サーボやスピードコントローラー（モーターは除く）、バッテリー等を接続した状態で行ってください。



3. 送信機を操作して、サーボやスピードコントローラーが作動することを確認してください。
4. フェイルセーフを働かせたい位置にスロットルトリガーを操作しながら、受信機のB I N Dボタンを押し続け、受信機のLEDがゆっくりな点滅になるのを確認してください。
5. さらに受信機のLEDが高速点滅になるまで受信機のB I N Dボタンを押し続けてください。
6. 受信機のLEDが高速点滅になったら設定完了です。
7. 受信機／スピードコントローラーの電源スイッチはONのまま、送信機の電源をOFFにしてフェイルセーフが適切に作動するか確認してください。

注意

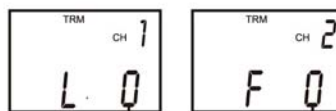
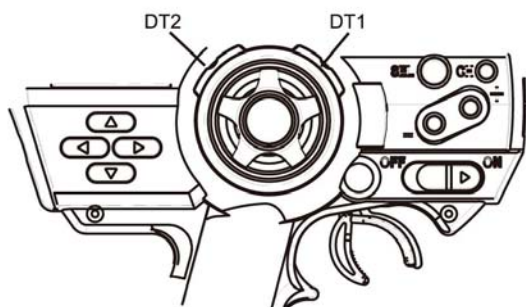
- ハイ側でフェイルセーフの設定を行うのは絶対におやめください。フェイルセーフが働いたときに暴走し、非常に危険です。
- フェイルセーフの設定を行ったあとでB I N D設定を行うと設定がクリアされますので、再度フェイルセーフの設定を行ってください。
- 受信機の電圧が低下した場合には、フェイルセーフ機能は作動しません。
- フェイルセーフ機能は、スロットルにのみ作動します。

● デジタルトリムスイッチ1&2 (ステアリング・トリム&スロットル・トリム)

DT-1 : ステアリング・トリム → ステアリングの中立位置を調整できます。

DT-2 : スロットル・トリム → スロットルの中立位置を調整できます。

*基本的に初期設定の中立位置は0となります。



ステアリングトリム位置



スロットルトリム位置

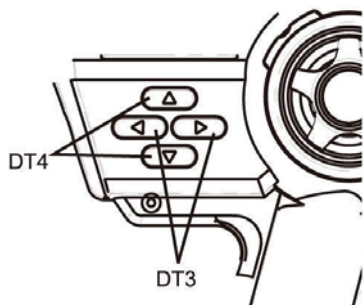
デジタル音は、各デジタルスイッチを押すたびに鳴ります。最小または最大の値にいったん達しても、デジタル音は鳴りますが数値はそれ以上変動しません。

● デジタルトリムスイッチ3&4 (デュアルレート)

DT-3 : ステアリング・デュアルレート → ステアリングの切れ角を調整できます。

DT-4 : スロットル・デュアルレート → スロットルの操作範囲を調整できます。

*基本的に初期設定値は100%となります。



デジタル音は、各デジタルスイッチを押すたびに鳴ります。最小または最大の値にいったん達しても、デジタル音は鳴りますが数値はそれ以上変動しません。



ステアリングD/Rレート



スロットルD/Rレート

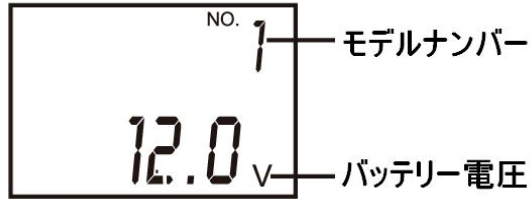
注意

RCカーのステアリングリンクageがロックした状態からデュアルレートの数値を絶対に増やさないで下さい。ステアリングサーボがロックした状態になり、サーボに過電流が流れサーボモーターやサーボギヤの破損の原因になります。

送信機のセットアップ

- 電源スイッチをONにします。

電源を入れたときの表示



- モデルナンバーチェック

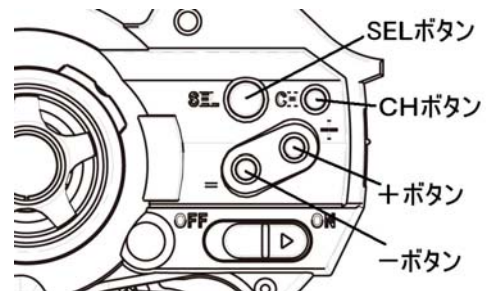
電源をONにしたとき、現在選択されたモデルナンバーを表示します。
別の番号を選択するには、13ページのモデルセレクトをご参照下さい。

サーボリバース (REV)

ステアリングサーボやスピードコントローラーの動作方向を反対にしたい時に使用します。

1. "SEL" キーを2回押して「REV」画面を選びます。
2. "CH" キーで調整したいチャンネル (1~3) を選択してください。
3. エディットキーの+または-キーで (ON リバース) ⇔ (OFF ノーマル) を換えてください。

初期画面



LCDスクリーン



← "CH" キーでチャンネルを選ぶ

OFF : ノーマル

ON : リバース

*リバース設定を行った後にサーボやスピードコントローラーの中立の位置が移動する場合がありますので、その場合は中立の位置をステアリング・トリム DT-1 またはスロットル・トリム DT-2 ボタンで再調整してください。

エンドポイントアジャスト (EPA)

●ステアリングEPA

ステアリングの左右の舵角調整、スロットルのハイ側/ブレーキの動作量が調整できます。

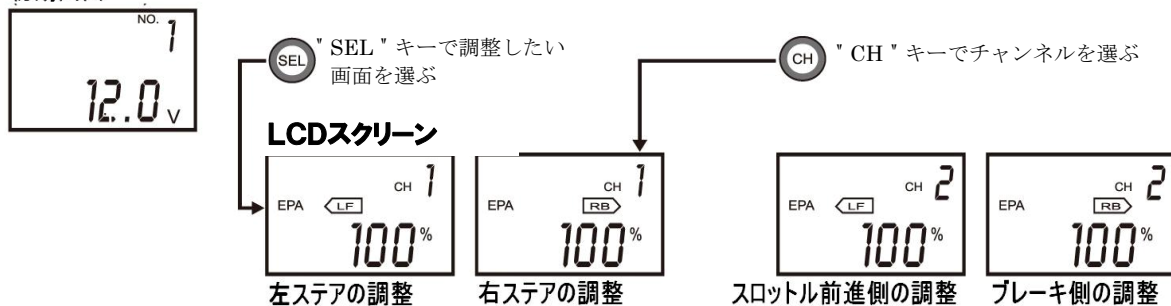
1. "SEL" キーを押して「EPA」画面を選びます。
2. "CH" キーで1CHを選択します。
2. ステアリングの右側を設定するときはステアリングホイールを右側いっぱいに操作し、エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。
3. ステアリングの左側を設定するときはステアリングホイールを左側いっぱいに操作し、エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。

* ステアリングEPAの初期値は100%です。

* EPAの最大値は120%までです。

* エディットキーの+ か -キーを長押しすると数値の変化スピードが速くなります。

初期画面



ステアリングサーボがロックしてサーボからジリジリ音が鳴らないようにステアリングEPAの数値を調整してください。

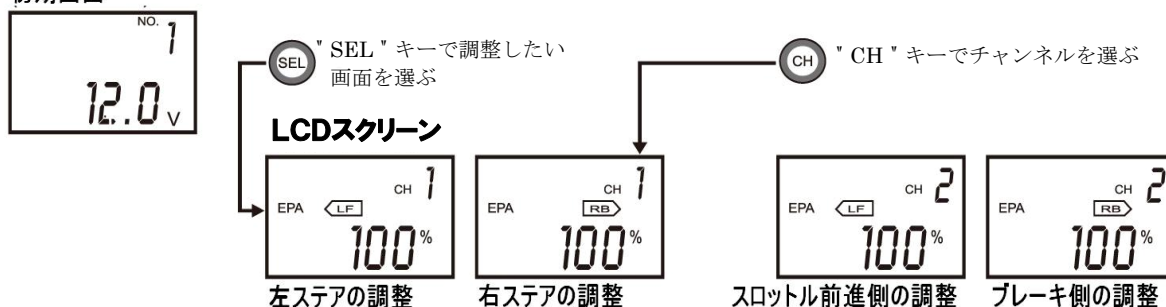
●スロットルEPA

エンジンカーのキャブレター／ブレーキストローク調整、電動カーのスピードコントローラーのハイポイント／バック（ブレーキ）の調整を行います。

1. "SEL" キーを押して「EPA」画面を選びます。
2. "CH" キーで2CHを選択します。
3. エンジンカーのスロットルのハイ側を設定するときは、スロットルトリガーをいっぱいまで引き、エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。
* 電動カーのスピードコントローラーでは、通常ハイ側を100%に設定し、スピードコントローラーのハイポイントの設定を行ってください。
4. ブレーキ側を設定するときは、スロットルトリガーを前に押し出し（ブレーキMAXの状態）エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。
正確なブレーキ量の調整は走らせながら行ってください。
* 電動カーのスピードコントローラーでは、ロー側を100%に設定し、スピードコントローラーのバック（ブレーキ）ポイントの設定を行ってください。
正確なブレーキ量の調整は走らせながら行ってください。

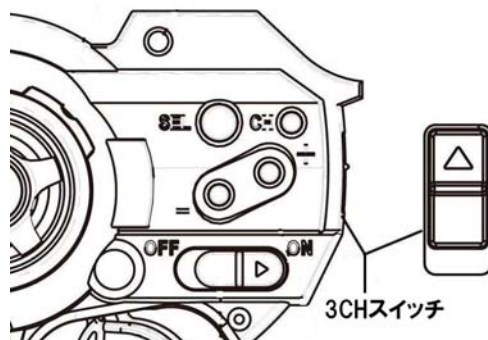
- * スロットルEPAの初期値は100%です。
- * EPAの最大値は120%までです。
- * エディットキーの+ か -キーを長押しすると数値の変化スピードが速くなります。
- * スピードコントローラーの設定に関しては、各スピードコントローラーの取扱い説明書をご参照下さい。

初期画面



3CHスイッチ (AUX)

ギミックやライトスイッチ、クローラーのDIG等にお使
いください。



EXPアジャスト

EXPアジャストで、ステアリングやスロットルのパワー特性を調整することができます。

+1 ～ +100 → クイック特性

-1 ～ -100 → マイルド特性

●ステアリングEXP

ステアリング特性を可変できます。一般的にはRCカーがオーバーステアに感じたときには設定値をマイナス側（マイルド）にセットし、アンダーステアに感じたときには、設定値をプラス側（クイック）にセットします。

1. "SEL" キーを押して「EXP」画面を選びます。
2. "CH" キーで1CHを選択します。
3. エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。

- * ステアリングEXPの初期値は0%です。
- * EXPの最大値は100までです。
- * エディットキーの+ か -キーを長押しすると数値の変化スピードが速くなります。
- * EXPアジャストは走らせながら設定してください。

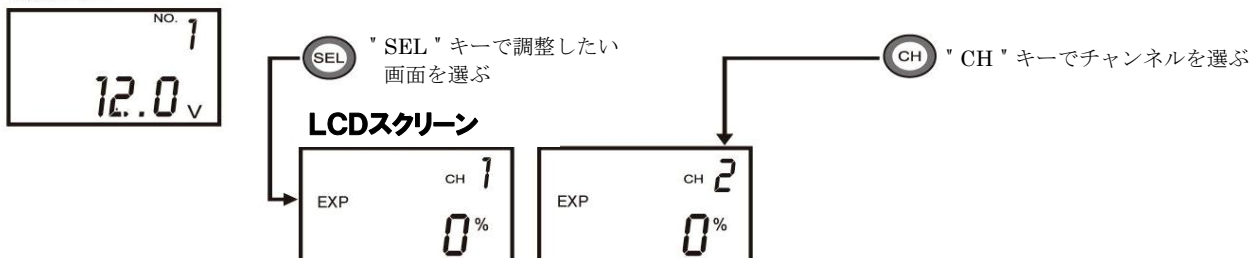
●スロットルEXP

スロットル特性を可変できます。一般的に滑りやすい路面やパワフルに感じたときには設定値をマイナス側（マイルド）にセットし、ハイグリップ路面やトルク感がないと感じたときには、設定値をプラス側（クイック）にセットします。

1. "SEL" キーを押して「EXP」画面を選びます。
2. "CH" キーで2CHを選択します。
3. エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。

- * スロットルEXPの初期値は0%です。
- * EXPの最大値は100までです。
- * エディットキーの+ か -キーを長押しすると数値の変化スピードが速くなります。
- * EXPアジャストは走らせながら設定してください。

初期画面



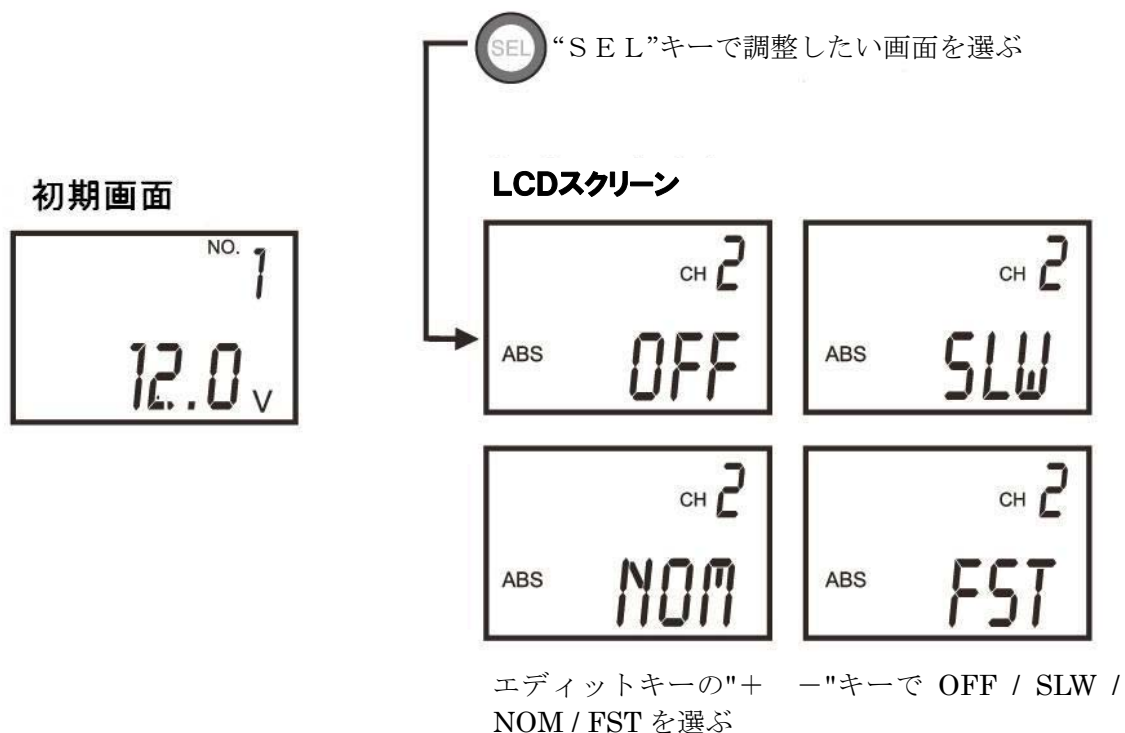
アンチロックブレーキシステム (ABS)

アンチロックブレーキにより、グリップの低い路面で安定したブレーキングが可能となります。ブレーキングが安定するため、狙い通りのコーナリングラインをトレースすることができます。

ABS OFF ABSがオフの状態。
ABS SLW ABSが遅い間隔で効いている状態。
ABS NOM ABSがSLWとFSTの間隔で効いている状態。
ABS FST ABSが早い間隔で効いている状態。

1. "SEL"キーを押して「ABS」画面を選びます。
2. エディットキーの+、-キーで設定値を調整します。

- * ABSの設定は2CHのみしかできません。
- * ABSは走らせながら設定してください。
- * トルクの弱いサーボ等でABSを多用した場合にサーボが破損する場合があります。

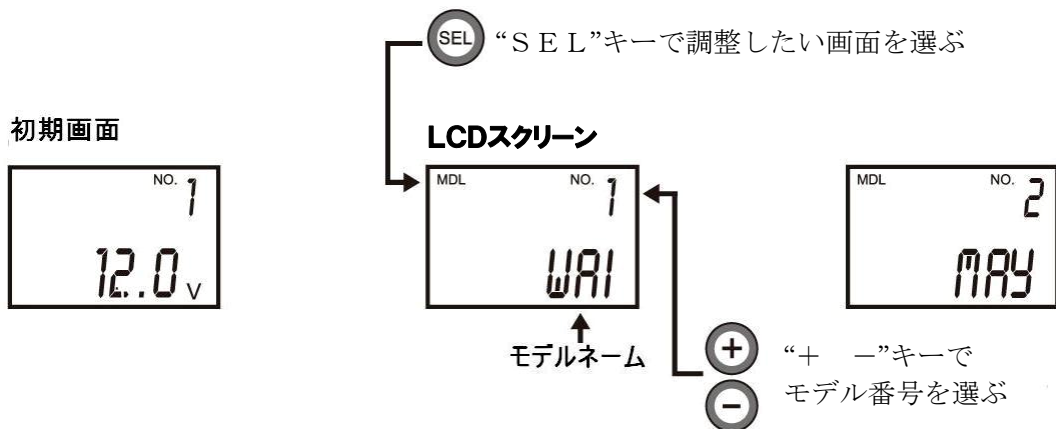


モデルネーム／ネーム

●モデルセレクト

0～9の合計10種類のモデルメモリーを呼び出します。

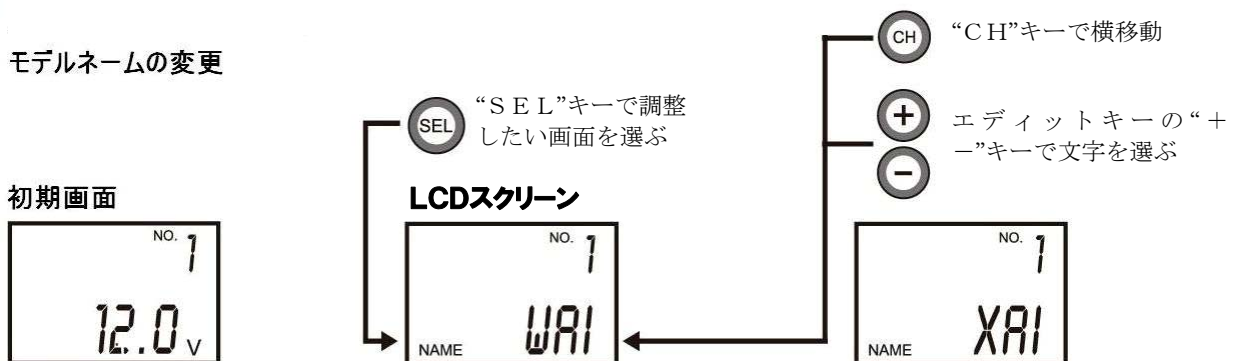
1. "SEL"キーを押して「MDL」画面を選びます。
2. エディットキーの+、-キーで呼び出したいモデル番号を選びます。



●モデルネームの変更

3ケタのモデルネームをアルファベットと数字で任意に変更できます。

1. "SEL"キーを6回押して「NAME」画面を選びます。
2. "CH"キーでモデルネームの横移動ができます。
2. エディットキーの+、-キーでアルファベットか数字を選択できます。

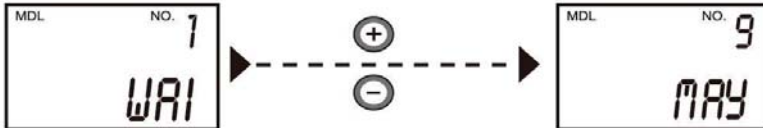


ファンクションガイド

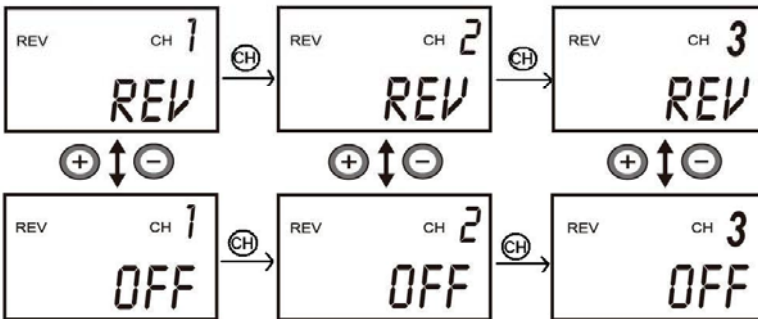
初期画面



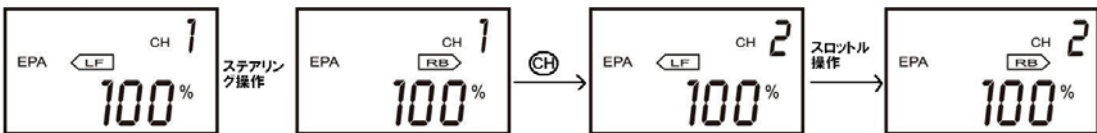
SEL ↓ モデルセレクト/MDL



SEL ↓ サーボリバース/REV



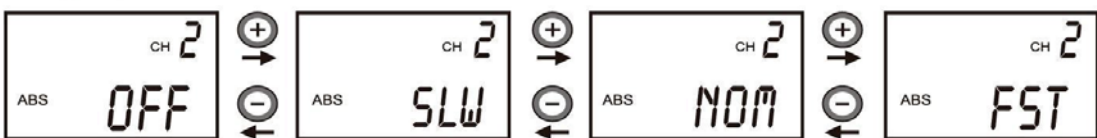
SEL ↓ エンドポイントアジャスト/EPA



SEL ↓ EXPファンクション



SEL ↓ ABSファンクション/ABS



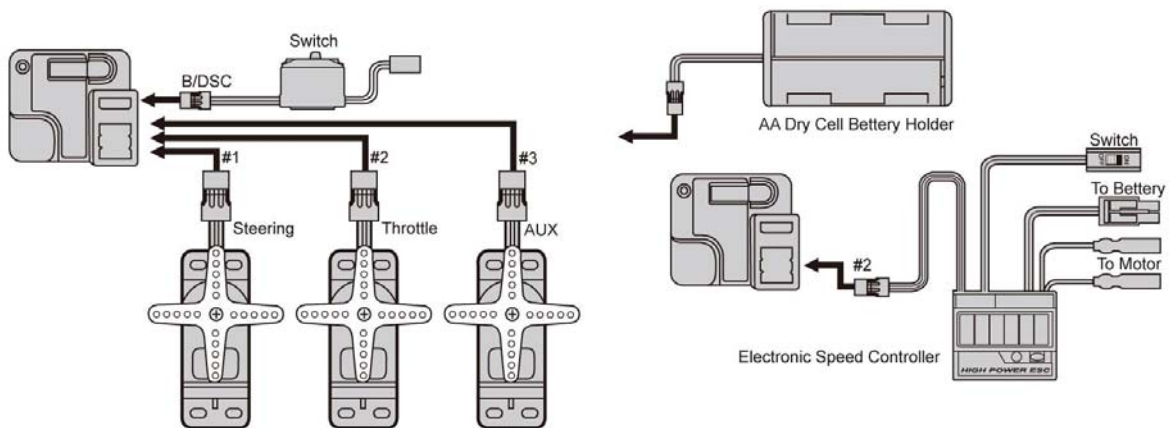
SEL ↓ モデルネーム/NAME CHでカーソル移動
+、-で文字選択



トラブルシューティング

現象	原因	処理
電源が入らない。	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。
	乾電池の入れ間違い。	極性表示のとおりに入れなおす。
ときどき電源が切れる。	コネクタ等の接触不良	修理
距離が届かない。	乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。
		修理
アラームが鳴り止まない。	送信機の電圧が低下している。	新しい乾電池と交換してください。
電源は入るが動かない。	BINDの設定が出来ていない。	BINDの設定を行う。5P 参照。

受信機、サーボ、スピードコントローラーの接続図



保障規定

本製品を使用するのいかなる損害に関しても保障はいたしかねます。
製品の保証は、ご購入後30日以内の初期不良のみとなります。

修理依頼カード

このカードに故障状態を詳しくご記入のうえ必ず製品といっしょにお送りください。

〒

☎

()

ご住所

フリガナ
お名前

修理依頼用件

ご意見・ご要望

1回目 年 月 日

点検、オーバーホール。

全く動かない。

ノーコンになる。

●一台走行の時

●複数走行の時

水が入った。

その他

修理依頼用件

ご意見・ご要望

2回目 年 月 日

点検、オーバーホール。

全く動かない。

ノーコンになる。

●一台走行の時

●複数走行の時

水が入った。

その他

キリトリ線



OPTION No.1 プロポ保証書

製品型名 MX-3SG 製造番号 _____

ご愛用者住所 _____

お名前 _____

保証期間	お買上げ日 有効期限	年 月 日) 年 月 日)	30 日
------	---------------	--------------------	------

販売店名・印 _____

当社製品を上記記載通り保証いたします。 **スプレッドワールド(株)**

OPTION No.1 (スプレッドワールド株式会社)
〒641-0036 和歌山市西浜 1660-234
TEL073-444-2409/FAX073-445-8921
<http://www.option-no1.com>